

DVD・BHSビデオ一覧表（人権啓発）

VHSビデオ

DVDビデオ

No.	タイトル	内容	時間	年度
1	心ひらくとき	新聞記者である主人公の取材活動を通じて、日常の中の差別や偏見、心のあり方や生き方について考える作品です。	55分	1999年
2	虐待から子どもたちを守るために	ドラマとドキュメンタリーの二部構成で、子どもへの虐待の深刻化、潜在化の防止のために何が必要かを描いています。	53分	2001年
3	この街で暮らしたい ～外国人の人権を考える～	近年、様々な国からやってきた外国人が私たちの町で暮らすようになりました。しかし、言葉や宗教、文化や価値観などの違いから様々な人権問題が生まれています。日本人と外国人がお互いに違いを認めあって、共に生きていくことができる社会を築いていく事が求められています。この作品では入居拒否の例をもとに外国人の人権について考えていきます。	32分	2002年
4	犯罪被害者の人権を守るために	犯罪被害者たちが声を挙げ始めました。しかし、実際には声を挙げられる人は、まだまだ少ないのが現状です。犯罪被害者たちが直面する問題は、時間の経過とともに変わっていきます。それはどんなものでしょうか？犯罪被害者たちの現実を見ていきます。	33分	2003年
5	人権に向き合うための 6つの選択	私たちが何気なく身を置いている「日常」。しかし、普段当たり前としてきた言動や習慣、社会システムなどの中にこそ、人権問題の芽が潜んでいないでしょうか？このビデオでは誰の生活の中にも人権があることを考えていただく事をめざしています。	27分	2003年
6	人権の扉をひらく	人権は人と人との関わりの中に存在します。私たちは、固定観念や思い込みにより人を差別してしまうことがあります。そんな自分に気づくことが人権を考える上での第一歩になるのだと思います。このビデオをはそんな気づきを考えさせてくれます。	25分	2003年
7	ノーマライゼーションを考えるシリーズ 知的障害者～自立という選択～	障害者を取り巻く状況が変わりつつあります。知的障害者は施設から出て町で暮らし始めました。こうした障害者たちや、彼らをとりまく人々の姿を追い、障害者の自立とノーマライゼーションの「いま」を考えます。	22分	2004年
8	今でも部落差別はあるのですか？ マイナスイメージの刷り込み	差別にはも見えるもの（実態的差別）と見えないもの（心理的差別）とがあります。同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持という今日的な問題について、ドラマで提起し、解決の筋道を考えあうビデオです。	55分	2005年
9	この空の下で	古い住宅地に住む四大家族が住民間の偏見や壁をなくし、育児や介護など、それぞれの悩みを分かち合い、ともに生きる「まち」を創るために物語ったアニメーション映画。	42分	2006年

No.	タイトル	内容	時間	年度
10	千夏のおくりもの	子どもの率直な疑問をきっかけに、自らが無意識のうちに持っている「世間の常識」や「偏見」を問い直すことにより、改めて子どもや女性の人権問題について正しい理解を深める。	54分	2006年
11	人権感覚のアンテナって？ ～ 人権侵害・差別が みえてくる ～	ドラマと解説の2部構成で日常の意識や行動を見直すことで自らの人権感覚のアンテナに気づいて欲しいことを描いております。 ドラマ部「問題提起」 解説部「意識や行動を考える」	39分	2006年
12	老いを生きる ～今日も何処かで 高齢者のサインが！～	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対する優しさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品。	35分	2007年
13	働きやすい職場をめざして ～こころの健康と人権～	職場で「こころの病」に発展しがちなストレスのかかる状況をドラマで再現し、対応策と「こころの病」とは何かを解説していきます。	25分	2007年
14	部落の歴史（明治～現代） ～近代化が存続させた差別～	明治から現代まで映像を通して、新しい部落史を多くの人が共有できる作品。	26分	2007年
15	職場の人権 ～相手のきもちを考える～	社員相談室の新人相談員が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、“相手のきもち”を考えるとはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描いています。 職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示しています。	27分	2008年
16	えっ！これも人権？	日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成されています。	30分	2008年
17	同和問題と人権 あなたはどのように考えますか	同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくならないのか。 同和問題を正しく理解し、解決するためにはどうすれば良いか、一緒に考えてみませんか。	28分	2009年
18	外国人労働者問題から 多民族共生を考える	従業員の2割が中国人という日本企業の明日の姿を先取りしている大阪の中堅会社に密着取材。 研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利潤追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのかを描いています。さらに、労働者は生活者であるという視点から、その生の声や地域の支えにも触れています。	32分	2009年

No.	タイトル	内容	時間	年度
19	メンタルヘルスと人権	どこの職場でも誰かがうつ病に陥っています。あなたの職場は大丈夫ですか？ そしてあなた自身は？ メンタルヘルス（心の健康）ケアの重要性を気付かせてくれるビデオです。 生き活きと働ける職場づくりを実現させるためのセルフケアと、職場のラインケア、また家族の関わり方を考えます。	30分	2009年
20	ぬくもりの彩	突然、障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけに、それぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品です。	36分	2009年
21	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	街の喫茶店に様々な思いを抱いた人々が集まり、交流の中から「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく。	25分	2010年
22	インターネットと人権	インターネットは便利さの反面、使い方を誤ったり、意志がなくても、人を傷つける「凶器」になりうる。 インターネットの特性を悪用した、社会的弱者と言われる人に対する人権侵害事件也多発している。 インターネットによる人権侵害の当事者に、状況や思い等を語っていただき、ネット被害を防ぐために私たちがどう考えるべきかを問題提起していく。	22分	2010年
23	高齢者虐待 －尊厳を奪わないために－	実例３話のオムニバスドラマ。 ・介護サービスを受け入れない ・虐待の自覚がない ・要介護状態を受け入れられない 障害を持ってしまった高齢者に対して、間違った介護により虐待に発展してしまった過ちに対して、訪問看護師、ケアマネージャー、民生委員が助言・指導していく。	26分	2010年
24	それぞれの立場 それぞれのきもち 職場のダイバーシティと人権	一連のドラマの中で、日常の職場で起こりそうな出来事を取り上げます。年代や経験、価値観の異なるメンバーそれぞれがどのような思いを持っているのかを描き、コミュニケーションの重要性やダイバーシティ（多様性）の考えに沿って、問題解決のヒントを示していきます。 また、「ユニバーサルデザイン」にも触れ、ダイバーシティの理念を分かりやすく学びます。	本編２８分 付録４分	2011年

No.	タイトル	内容	時間	年度
25	たん ばい 探 梅 春、遠からじ	人権課題の多くは、人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していきます。しかし、「困ったときはお互い様」。その気持ちが人を温かく結びつけ、助け合う社会へと導きます。 北九州市の『いのちをつなぐネットワーク』を取り上げて展開するアニメーションです。 お互いに違いを認め、支え合い、あらゆる人を「包み込む社会」をつくっていくために、人と人とのつながりや助け合いの根底となる人権尊重について考えていきます。	40分	2011年
26	日常の人権Ⅰ 一気づきから行動へー	<女性の人権><子どもの人権><高齢者の人権>の3つの課題で構成されます。ドラマ編では人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリー編では差別や偏見などで苦しむ人々の痛みを伝えます。	23分	2011年
27	人権のヒント職場編 気づきのためのエピソード集	ドラマ手法を使い、日ごろは気づかない「人権のヒント」を探り、職場の中で私たちが考えるべき人権問題について提起する内容。「男女の役割」「セクシャルハラスメント」「パワーハラスメント」「双方向のコミュニケーションがつくるもの」「アサーティブな主張」「障がい者との共生」「出自で差別」「ダイバーシティの尊重」の7つのヒントとエピソードで描きます。	22分	2012年
28	見上げた青い空	中学校・少年・青年向DVDです。匿名性が高く、残酷なネット時代の“いじめ”の本質を直視し、あらためて“いじめ”について考えるきっかけになることを企図して作成されたドラマ等です。	34分	2012年
29	明日はわが身	元気な高齢者から、寝たきりの高齢者まで様々ななか、介護について自分自身の問題として“明日はわが身”と思い愛情を持って高齢者に接してほしいという希望のもとにつくられた教材です。	18分	2013年
30	自他尊重の コミュニケーションと 職場の人権Ⅱ	職場の身近な異なる4つのエピソードにより、自分も相手も大切にするコミュニケーションとはどんなものか考えさせられる教材です。	23分	2013年
31	家庭の中の人権 カラフル	家庭での会話を通じ、他人の噂、子どもの就職・結婚、LGBTをテーマに知らず知らずのうちに他者の人権を侵害してしまうことについて取り上げています。1人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、話し合うきっかけとなる作品です。	31分	2014年
32	imagination-イマジネーション- 想う つながる 一歩ふみだす	子供の人権（いじめ問題）、同和問題、障害者の人権（発達障害）についてドラマ、ドキュメントと解説で紹介。「想像してみること」をテーマに「人権」を自分の問題として、また日常の問題として考える機会となるよう制作された作品です。	34分	2014年

No.	タイトル	内容	時間	年度
33	新・人権入門	多様化（ダイバーシティ）が進みつつある職場の中で、人権を考える。 「16のショートドラマによるドラマパート」と「それを演じた俳優たちがそのシーンを振り返るパート」の2部構成です。俳優たちの意見交換を通して、視聴者も様々な視点で人権問題への認識を深めることのできる作品です。	25分	2015年
34	その人権問題 わたしならどうする？ 地域編	人権について5つのテーマのドラマと、各ドラマテーマのインタビューで構成されます。様々な人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどう行動するか考える、視聴者参加型の人権学習映像です。	36分	2016年
35	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～	オープニング、三色団子の向こう側（インターネットによる人権侵害）、世代をつなぐ柏餅（高齢者の人権）、コンベイトウの来た道（外国人の人権）、エンディングの構成です。3種のドラマと解説・インタビューで人権について紹介しています。	35分	2016年
36	コーチングに学ぶ 人を育てる 「ほめ方・叱り方」	「なぜ、ほめるのか」「なぜ、叱るのか」の基本的な考え方への理解を促し、コーチングのスキルにより「ほめ方・叱り方」のポイントを習得させ、そして多様な状況に対応するため「ほめ方・叱り方」のレパトリーを広げる内容です。	60分	2018年
37	管理監督者によるメンタルヘルス 職場のキーパーソンとして何をすべきか？	管理監督者がメンタルヘルス不調となった職員の早期発見・早期対策する場合の留意点を解説する。	42分	2010年
38	あなたもできる 「生きがいづくり」 ー自分時間・家族・仕事ー	本作『あなたもできる「生きがいづくり」』は、「生きがいづくりの動機づけ」をテーマに、 9名の地方公務員（現職・OB）の生きがいを追ったドキュメンタリー映像を中心とした作品です。 ★オムニバス作品につき、ライフプランセミナーでの上映時間に合わせた柔軟な活用が可能です。	60分	2011年
39	裁判員制度	平凡なサラリーマンのもとにある日突然一通の手紙が届きました。「あなたは裁判員候補者に選ばれました。」自分の意志に反して裁判員に選ばれてしまう主人公小林（西村雅彦）…。最初は消極的だった小林たち6人の裁判員も次第に裁判員として他人の事件に関わることの意義を感じ始める。 裁判長（中村雅俊）の言葉に心動かされる裁判員たち。 「何一つ他人事はない。ある日突然誰かが被害者になり誰かが加害者になる。無関心こそ最大の罪である。」	58分	

No.	タイトル		時間	年度
40	サンタが家にやってきた ーはじめよう…家庭経済設計ー	この作品は、「家庭経済設計」をテーマに、ある地方都市に住む地方公務員の家族と彼らを取り巻く人々を通して、現在から未来に向けた「家庭経済設計」を考え、計画的に取り組んでいくことの大切さを描いたものです。	30分	2010年
41	未来を拓く5つの扉	法務省では、昭和56年度から全国中学生人権作文コンテストを実施し、次代を担う中学生に、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などを題材とした人権作文を書くことを通じて、人権について考えていただいています。このビデオでは、近年の同コンテスト入賞作品の中から5編の作文を中学生でもある著名人による朗読と、アニメーションやイラストで紹介しています。中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと、新しい明日への一歩につながっていくでしょう。 <朗読> 濱田龍臣（俳優）、大和田南那（AKB48） <メッセージ> 落合恵子（作家）	46分	2014年
42	あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人は多くなく、性的マイノリティの方々の多くが生きづらさを感じています。誰もがありのまま受け入れられ、自分らしく生きることができる社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めることを目的としています。 <監修> 日高康晴（宝塚大学看護学部教授） <ナビゲーター> 草野満代（アナウンサー）		
43	同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～	我が国固有の人権問題である同和教育に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等さまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめられています。人権教育・啓発担当者向けと一般向けの二つに分かれて収録。	80分	2014年

No.	タイトル	内容	時間	年度
44	ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来の提言～	1. ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言 ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめた啓発映像です。 2. 家族で考えるハンセン病 ハンセン病問題に焦点を当てた啓発映像です。 ドラマを中心に、関係者の証言や解説等を交えて分かりやすく簡潔にまとめています。 <監修> 内田博文（神戸学院大学教授、元ハンセン病問題に関する検証会議副座長） <語り> 菊川 怜（女優）	76分	2015年
45	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～	人権の保護や促進に多大な貢献を果たしてきた国際連合創設70周年を記念して、このビデオでは、世界人権宣言及び国際人権諸条約が自分たちの身近にある人権問題とどのように関わっているかを国際的な視点から考えるために、4つの人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。	35分	2015年
46	外国人と人権 違いを認め、共に生きる	我が国に入国する外国人の増加に伴い、言語、宗教、習慣等の違いから、外国人をめぐる様々な人権問題が発生していることから、こうした状況を改善するため、人権啓発担当者の研修や一般市民を対象とする人権教室等において使用することにより、外国人の人権に関する理解や関心を深めることを目的としています。 <監修> 宮島 喬（お茶の水女子大学名誉教授） <ナビゲーター> サヘル・ローズ（女優）	33分	2016年
47	私たちが伝えたい、大切なこと ーアニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品ー	近年の全国中学生人権作文コンテスト入賞作品から(1)外国人問題、(2)障害者スポーツ、(3)障害者理解を題材とする3作品をアニメ映像化し、人権研修、講演会、人権教室等で上映等を行うことで、人権尊重思想の普及高揚とともに、同時に同コンテストの周知を行うことを目的としています。 <メッセージ> 落合恵子（作家、全国中学生人権作文コンテスト中央大会審査員長）	31分	2016年

No.	タイトル	内容	時間	年度
48	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。 このビデオは、企業活動で直面する人権課題に関する事例を映像化し、企業における研修会等で活用することにより人権尊重意識の普及高揚を図ることを目的としています。 <ナビゲーター> 内田 恭子（アナウンサー）	40分	2017年
49	障害のある人と人権 誰もが住みよい社会をつくるために	ユニバーサル社会とは、障害の有無にかかわらず、女性も男性も、高齢者も若者も、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる社会のことです。 障害のある人もない人も誰もが住みよいユニバーサル社会をつくるためにはどうしたら良いのでしょうか。 このビデオは、障害のある人が直面する人権問題やその問題を解決するための取組などを具体的に紹介し、「障害のある人と人権」について考えてもらうことを目的としています。 <ナビゲーター> 山本 舞衣子（アナウンサー）	33分	2018年
50	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	インターネットの急速な普及に伴い、中高生がインターネット上で深刻な人権侵害を受けることが増加していることから、こうした状況を改善するため、主として中高生やその保護者を対象とする人権教室等において使用することにより、インターネット上における人権尊重やその安全な利用に関する理解や関心を深めることを目的としています。 <監修> 大久保 貴世（一般財団法人インターネット協会主幹研究員） <ナビゲーター> 高橋 みなみ（タレント）	30分	2016年
51	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	35分	2020年

No.	タイトル	内容	時間	年度
52	グレーゾーンのパワーハラスメント	実際に職場でよく起こりがちな、いわゆるハラスメントのグレーゾーン(※)といわれるコミュニケーションの場面を取りあげ、どのように伝えたらグレーゾーンのハラスメントを防止できるのか、アサーティブの方法論を使った具体的なポイントをもとに、コミュニケーションのビフォー/アフター形式で再現しています。	23分	2018年